

リレー記事 No.65

ノーマイカーデー

※ノーマイカーデー

エコけんでは、車通勤をしない日を毎月1回実施しようと呼びかけています。



サイクルポート

私が住んでいる福津市では、環境にやさしいまちづくりをめざした新たな交通手段として「電動アシスト自転車レンタルシステム」の社会実験が、始まりました。申し込みをして会員カードを作れば、1日200円で自転車をレンタルすることができます。自転車レンタルのサイクルポートは、市内に2カ所あり、どちらにも返却可能となっています。

いつかエコロの森の事務所まで「ノーマイカーデーの実施」を思いつつ、自転車で途中の山道に行くことを考えると、尻込みしてしまいあきらめていました。しかし、この「電動アシスト自転車レンタルシステム」を使って、11月吉日、お天気良好、ついに実行可能な日がやってきました。

レンタルした自転車には、電動切り替えのスイッチがあり、一般の自転車機能に「バッテリーでモーターを回し人力を補助する機能」がついています。CO₂削減を考えると、なかなかスイッチオンには、できませんでした。しかし、車輪が小さいため次第に足が疲れて、ゆるい上り坂では、スイッチをエコモードに入れてみました。確かに軽い！だんだん傾斜もきつくなってきたので、パワーモードにして山道を進みます。ギアチェンジもできますが、バイクではありませんから、一生懸命こがないと前進できません。最後の山道は、さすがに苦しかったです。1時間ほどかかって到着した時は、足がぶるぶるでしたが、初ノーマイカーデーとなり本当に嬉しかったです。



▲得意満面のノーマイカーデー

この日は疲れてしまい、再チャレンジしようとは思いませんでしたが、電動アシスト自転車で100km走行すると、普通乗用車に比べて、CO₂排出量は、約34分の1になるそうです。車でしか行かなかった場所に、このレンタル自転車を利用してみたいと思っています。

【参考資料】 <http://cycle.panasonic.jp/products/electric/>

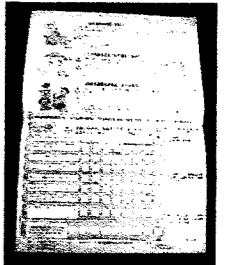
《N. N》

エコ出前授業



イメージキャラクターのエコトン

福岡県地球温暖化防止活動推進センターからの依頼で、10月から12月にかけて、福岡県内の小・中学校や幼稚園、保育園に「エコ出前授業」を実施しています。地球温暖化をストップするために、できることから始めようと、エコチェックシートを使って具体的なエコ行動を伝えます。



エコチェックシート

小・中学校

小学校・中学校へエコ出前授業をしました。

“ふくおかエコチェックシート”に1週間取り組んでもらい、福岡県のみんなでCO₂を減らすくらしをしようというものです。



▲ナイトスターで発電中

一連のエネルギー環境講座の締めくくりとして、また、1時限や帰りの会だったりと、様々な位置づけの出前でした。1回だけの出前の場合、温暖化の状況を分かり易く伝え、チェックシートに取り組むやる気をいかに奪いたたせるかに苦心しました。

子ども達は、抽選で500円の図書カードがもらえることに期待が大きいようです。少しでも多くの子ども達が継続的にエコ行動に取り組む機会になるといいと思います。

《Ms. W》

幼稚園・保育園

出前授業で初めて保育園に進出しました。小さな幼児達がいったいどういう反応をするのか不安に思いながら、子供達の前に立ちました。私が知っている幼児とは大違いで、思った以上に落ち着いて話もしっかり聞いてくれました。

園長先生が迷いながら、私たちをお姉さんたちと紹介してくださったことや、古い手遊び歌を真似てやったものが、ぜんぜんウケなかったことは冷や汗ものでした。

次の幼稚園の出前に向けてたがいま奮闘中です。

《なら》



▲新バージョン ペープサートを使って

※ペープサート：紙人形劇のこと。

ソーシャルビジネスってなあに？

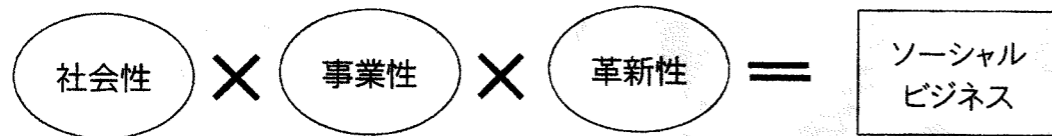
ソーシャルビジネスという言葉が聞かれたことはありますか？

「ソーシャルビジネス(SB)」とは
環境や貧困問題など様々な社会的課題に向き合い、
ビジネスを通じて解決していこうとする活動の総称

簡単に言うと
「地域貢献でメシを食う！」
だそうです。なるほど～



ソーシャルビジネスは、社会的課題への解決をボランティアとして取り組むのではなく、ビジネスの形で行います。それは、新しい社会的価値を産み出し、社会に貢献する事業として位置づけられています。行政や企業の協働パートナーとして、あるいは新たな公の担い手として、また社会的課題の解決に取り組むことを通して新たな産業・雇用を創出し、地域及び社会・経済全体の活性化を担う主体として、その役割が大きく期待されているそうです。



そうは言っても、福岡でソーシャルビジネスは、まだまだ厳しい状況にあるようです。11月9日マリンメッセで開催された「しんきん合同商談会」記念セミナー&ソーシャルビジネス発表会に出向きました。私たちのお目当ては、ソーシャルビジネスの事例紹介です。商談会場は、背広姿で活気がありました。そして、記念セミナーは、「先進的な地域活性化の取り組みを行っている農業生産法人株式会社さかうえ」の講演中で、満員(200人くらい)でした。

ところがびっくり。質疑応答も終わり、次のソーシャルビジネスの事例紹介がはじまる前に、背広の面々が、さーっと潮を引くようにいなくなりました。最終的に、会場は50人くらいになってしまったのです。残念ながら企業の方には、ソーシャルビジネスは魅力がないのでしょうか。

事例発表は5団体で、そのやり方は今後の私たちにとって、たいへん参考になりました。

私たちエコけんの、主な事業は、環境教育と社会教育です。「教育は大切だ」といわれますが、ビジネスとして、成り立っていないのが現状です。どのようにしたら資金の担い手がメリットを感じる事業を提供できるのか、知恵を絞っているところです。右往左往しながら、自分たちのビジネスモデルを作っていこうと思います。



特定非営利活動法人
宮崎文化本舗が運営する
みやざきNPOハウス

【参考資料】 ソーシャルビジネスネット <http://www.socialbusiness.jp/know/000037.html>

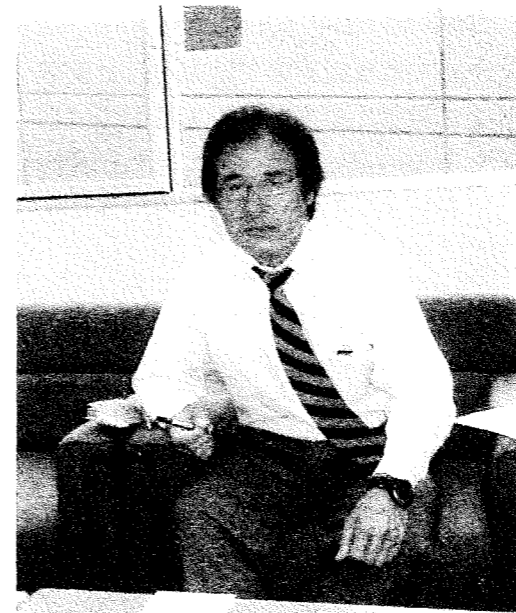
《ひら》

未来を創るインタビュー

No.6 古賀清掃工場長

古屋 順二 氏

今年の4月から古賀清掃工場長になられた古屋順二さんにお話を伺いました。ご自身は古賀市にあるNPO法人FC花鶴でサッカーチームの監督をされ、幼稚園児から小学校6年生までの指導をされています。日々子ども達との練習の中で、サッカーの技術を高めるだけではなく、人格形成の重要な時期と考えて指導されているとの事でした。



Q. 未来のために、今何が重要だとお考えですか

日々指導している中で、子どもの模範になるような大人の存在が必要ではないかと感じている。

Q. そのために、ご自身が暮らしの中で、心がけておられることを聞かせて下さい

- ・物を大切にする
(修理できる物は直して使う)
- ・あいさつをする事で、基本的なコミュニケーションを大切にする

Q. 未来を創るための決意

大人が子どもに模範を示すべし！

宮大工をされていたお祖父様やお父様が、道具を大切にしている姿をみて育ったとのこと。ご自身でも最近、自転車を修理されたそうで奥様が使ってらっしゃるそうです。インタビューを受けていただくにあたり、ご自身の事を多く振り返られたそうで、丁寧にお答えいただきました。

《Yっち》

次回のエコけん1%クラブ



12月 9日(金) 15:00~16:00 エコ口の森近隣
ごみ拾い



思いを形に

特定非営利活動法人 **エコけん**

〒811-3114 福岡県古賀市舞の里5-24-13

【TEL】080-2741-0048

【TEL/FAX】092-944-3012 【E-mail】eco_ecoken2@ybb.ne.jp 【HPアドレス】<http://www10.ocn.ne.jp/~ecoken>